



2023年2月27日

各位

会社名 株式会社富山第一銀行
代表者名 取締役頭取 野村 充
(コード番号7184 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 本多 力
総合企画部長
(TEL. 076-424-1219)

プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況

当行は、2021年12月27日に「新市場区分の上場維持基準への適合に向けた計画書」(以下、「計画書」)を開示しております。この度、2022年12月31日時点における計画の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場維持基準の適合状況の推移

当行は、移行基準日(2021年6月30日)時点において、プライム市場の上場維持基準のうち、「1日平均売買代金」のみ基準を満たしていませんでした。

その後、2025年3月までを計画期間と定め、上場維持基準を安定的に満たすべく各種取り組みを進めた結果、2022年12月31日時点で「1日平均売買代金」は上場維持基準を満たしており、プライム市場の上場維持基準の全ての項目に適合いたしました。

		1日平均売買代金
適合状況の推移	2021年6月30日時点(移行基準日)	0.18億円
	2022年12月31日時点(※1)	2.36億円
上場維持基準(プライム市場)		0.2億円
2022年12月31日時点適合状況		適合
当初の計画に記載した計画期間		2025年3月まで

※1 1日平均売買代金は、2022年1月1日から2022年12月31日までの売買代金を営業日数で除して得た数値であります。なお、本件については、東京証券取引所より入手した情報になります。

2. 上場維持基準の適合に向けた実施状況と今後の取り組み

(1) 実施状況

当行は、地域金融機関として健全性維持のための内部留保の充実を考慮しつつ、株主の皆さまへの継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としており、企業価値向上に取り組む中、株主の皆さまのご期待にお応えし利益還元の更なる強化を図るため、2022年5月に株主還元方針を策定いたしました。

具体的には、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向30%程度を目安とし、利益水準

にかかわらず1株あたり年間12円の配当を下限としております。なお、2023年3月期の1株あたりの配当金は、第2四半期末が8円であり、期末が8円（予想）の年間16円（予想）であります。

あわせて、市場動向や業績見通しなどを勘案したうえで、柔軟かつ機動的な自己株式の取得を実施いたします。なお、2022年5月13日開催の取締役会で「自己株式の取得に関する事項」を決議し、約277万株の自己株式を取得いたしました。

また、迅速かつ正確な情報開示を目的に「機関投資家向け」および「個人投資家向け」のIR説明会を開催いたしました。

(2) 今後の取り組みについて

当行は持続的な成長と中長期的な企業価値の向上、コーポレート・ガバナンスの一層の充実、正確で分かり易いIR活動を通して、プライム市場への上場維持基準の安定的な充足に向けた取り組みを継続し、引き続き企業価値の向上に努めてまいります。

以上